

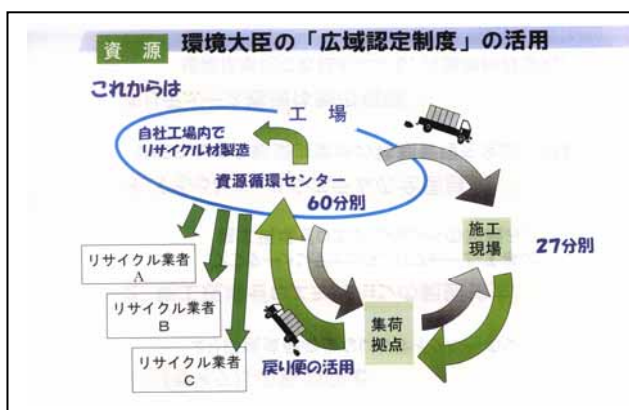
【事例 5】新築工事現場での廃棄物の 27 品目分別によるリサイクルの推進

事業所名	積水ハウス株式会社 神奈川営業本部 (神奈川県横浜市戸塚区川上町 8 5 - 3 C S S ビル 7 階)
事業内容	一般住宅及び集合住宅等の設計・施工・販売
事業規模	従業員数 800 名 協力会社社員数 約 5,000 名 合計 5,800 名
廃棄物データ	産業廃棄物 発生量計： 15,156t (2005 年度実績)

1 取組の概要

(1) 取組の経緯

積水ハウス株式会社では 1999 年に「人・街・地球」の調和をめざす環境憲章と環境基本方針を定めた環境未来計画を発表して以降、製造物責任法 (PL 法) やシックハウス (化学物質) 対策等を背景として本格的に廃棄物への取組も開始し、2001 年には全工場で ISO14001 を取得、2002 年には各工場ゼロエミッション (埋立処分及び熱回収を伴わない焼却を一切行わないこと) を達成しました。2004 年 9 月には環境省の広域認定 (廃棄物処理法に基づく廃棄物の広域的処理に係る認定制度) を取得して積水ハウス独自の廃棄物回収システムを再構築するとともに、2005 年 7 月には新築工事現場でゼロエミッションを達成しました。今回紹介する取組みは、新築工事現場でのゼロエミッション達成に不可欠な廃棄物の分別・保管方法です。



広域認定制度の活用



新築工事現場からの廃棄物発生量の変化

(2) 取組の内容

積水ハウスでは新築の工事現場での廃棄物を 27 品目に分別し、戻り便を活用した回収を行い、工場内の「資源循環センター」にて 60 分別に細分化した上で、リサイクル業者に引き渡しています。神奈川県内の廃棄物は海老名に集荷した上で静岡の工場へ搬入しています。

各新築現場では、それぞれの職方さん方（左官屋さん、建具屋さんなど様々な工種の新築工事に携わる専門業者のこと）が現場の作業に配慮して限られたスペースを有効に活用するための工夫を行っています。

新築現場での分別方法は、社員や職方さんにパワーポイントでの説明や「新築施工現場分別ガイド-積水ハウス新築現場ゼロエミッション対応版-2003年発行」による分別ルールの周知、分別方法を記載したポスター等を通じて周知しています。

新築工事現場では、写真に示すとおり家屋内で廃棄物を分別袋を用いて分別・整理した上で、屋外の保管場所（泥はね、雨濡れを完全に防止する）にて保管しています。この際、1つの袋あたりの重量を制限して持ち運びに配慮するとともに、分別の袋にタグを取り付けることにより排出先、廃棄物の種類がわかるように工夫しています。



新築工事現場



分別・保管の状況（屋内）

2 課題の解決にあたり苦労した点

（1）分別品目

現在、新築現場では27品目に分類していますが、ゼロエミッションプロジェクトを開始した当初は試行錯誤を重ねました。新築現場では地鎮祭から仕上げ、外構工事まで工種が多いことから、工種別に分別表を作成しています。



屋外保管場所の状況

（2）分別方法の徹底

全国の新築現場への周知には約1年半かかりました。この間にゼロエミッションプロジェクトのスタッフが各地の支店等を回り、分別方法を周知・徹底することが課題でした。関係者は神奈川県だけでも5,000人以上となりますので、現在でも全国の排出量を集計することにより、発生量の推移を把握して、各地にフィードバックしています。

（3）建築現場の自主性を尊重

建築に携わる職方さんは、現場での創意工夫に優れていることから、分別のルールでは最低限の決まりを設けることとし、各現場毎に分別方法を考案してもらいこの活動に積極的に参加してもらうこととしました。この結果、各地で様々な分別・保管のためのアイデアが出されており、「新築施工現場分別ガイド-積水ハウス新築現場ゼロエミッション対応版」に反映して全国に展開しています。

3 取組による成果

2005年7月には新築工事現場でのゼロエミッションを達成しています。また、併せて新築現場からの廃棄物発生量に関しても2000年度の2,893kg/棟から1,884kg/棟に削減しています。(平均的な新築1棟(延床面積145m²)あたりの廃棄物発生量)

4 今後の取組

社内に廃棄物削減の推進体制として、「リデュース推進プロジェクト」を設置し、この中で石膏ボード削減、廃木材削減、梱包材削減および未利用材削減に取り組んでいるところです。現在、新築工事現場からの廃棄物の発生量で800kg/棟を目標にしていますが、すでに1,000kg/棟を下回る地域も出てきており、順調に取組が進んでいます。

(新築工事現場での廃棄物については、副産物としてリサイクルに努めています。)

新築ゼロエミッション達成後 次の取組

- 1 リサイクルの質の向上
より環境負荷の少ないリサイクルへのシフト
- 2 施工現場ゼロエミッションの範囲拡大
アフターメンテナンス、リフォーム工事の施工現場ゼロエミッションへの取組
- 3 ぐるっとメールシステムの全国展開
WEB上での新築廃棄物の移動管理を全国で可能に
- 4 リデュース推進体制の構築
組織横断的な取り組みによる廃棄物削減活動

リデュース推進PJの活動内容

- <参考：リデュース推進PJの活動内容の例>
- 石膏ボード削減・・・天井先貼工法・天井ボードの910mm幅設定
板取の効率化、開口部の割付など効率的な材料取り
 - 木製品削減・・・プレカットによる端材削減
(床パネル、野地板、2階床下等)
 - 梱包材削減・・・梱包レス化や設備機器梱包材リターナブル化
 - 未利用材削減・・・発生原因の追究・対策